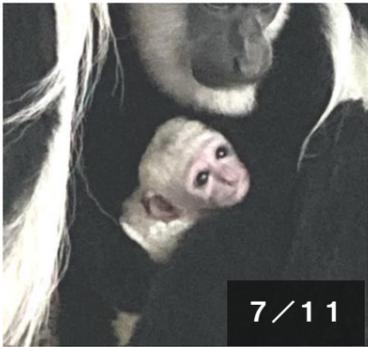




9月30日(木)まで臨時休園中。休園期間は延長する場合があります  
 【夏期開園期間】4/29(木・祝)～11/3(水・祝)【開園時間】午前9:30～午後5:15(最終入園は午後4:00まで)  
 10/16(土)～11/3(水・祝)は午前9:30～午後4:30(最終入園は午後4:00)

# 旭山動物園だより

発行所  
 旭川市旭山動物園  
 動物図書館  
 ☎0166-36-1104

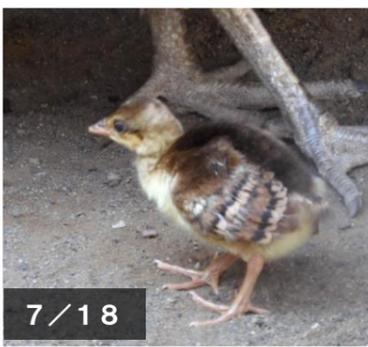


7/11  
 生まれてすぐは、母親にしがみついて離れません。毛はまっ白!

7/7生まれ  
 アビシニアコロブス



8/22  
 7/17に孵化したインドクジャクのヒナ

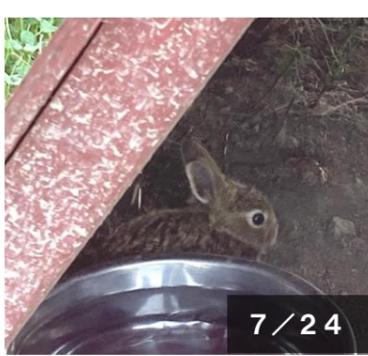


7/18  
 羽毛が生えて生まれ、歩くことができるヒナ。脚も大きいです

7/17孵化  
 インドクジャク

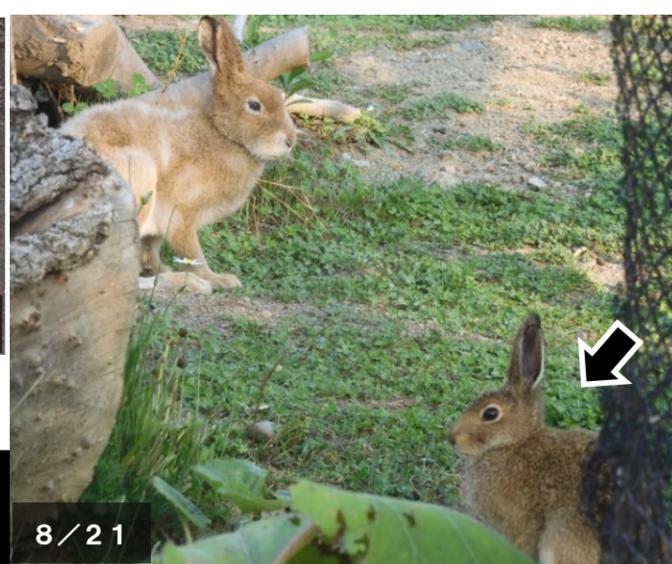


8/22  
 7/17に孵化したクジャク舎のヒナ



7/24  
 生まれたばかりでも、目があいていて、毛も生えています

7/18生まれ  
 エゾユキウサギ



8/21  
 7/18に孵化したクジャク舎のヒナ

## 7月生まれの子どもたち、 元気に成長しています!

動物のたちを観察していると、「たくましいな」と感じます。生まれる環境や生態がちがうだけで、子どもの時から備わっている能力が違いますし、子の育てかたも異なります。人間では考えられない「生きる術」を観察してみてください。

7/7に生まれたのは、「サル舎」のアビシニアコロブス。大人とは違う真っ白な毛に覆われた赤ちゃんは、顔の色も大人と異なります。しばらくは、親と離れず守られるように育てられます。

7/17には、「クジャク舎」で、インドクジャクのヒナが孵化しました。野生では、クジャクは地上の茂みに巣を作り、卵を産むそうです。生まれたヒナは、羽毛も生えていますし、すぐ歩くことができます。

7/18には、「北海道小動物コーナー」の「エゾユキウサギ放飼場」でエゾユキウサギの赤ちゃんが2頭生まれていたのが発見されました。赤ちゃんといっても、親と同じ茶色い毛が生えていますし、目もあいていて、動き回ることができます。クジャクやエゾユキウサギ、育ち方が似ているのは、天敵に狙われやすい環境下で生まれるから...なんですね。



6月生まれの  
 イワトビペンギンのヒナは...  
 6/15に孵化したイワトビペンギンのヒナは、順調に体重を増やしており、8/28に無事巣立ちました。目の色はまだ親と異なりますが目の上の黄色い飾り羽も生えてきましたよ。

園内各所で植物と昆虫の  
 小さい秋が始まっています  
 猛暑が続いた夏も、もう終わりがけ。園内各所で小さな秋がはじまっています。コオロギが鳴いていたり、ヤマブドウや梨、栗も実をつけています。夏の間産み付けられたミヤマカラスアゲハやキアゲハの卵も孵化し、葉っぱをたくさん食べながら成長しています。7月に生まれた子たちも順調に成長していますよ。今度、ゆっくり動物園を訪れるときに、ぜひ成長の様子を観察してみてくださいね。小さい秋も中くらいの秋になっていくはずですよ。

## 9/30(木)まで臨時休園中

休園期間は延長する場合があります。ご了承ください  
 新型コロナウイルスの感染が旭川市内でも急速に広がっていることに伴い、さらなる感染拡大の防止のため9/30(木)まで、臨時休園させていただきます。なお、今後の国や北海道等の方針などによっては、期間が変更となる場合がありますので、その際はホームページやSNS等を通じてお知らせいたします。動物園の情報のほか動物たちの画像や動画もSNSにて配信しています。



## シセンレッサーパンダの「チャーミン」が死亡しました

8/22、シセンレッサーパンダのチャーミン(オス・10歳)が死亡しました。チャーミンはメスの渝渝(ユーユー)との間に7頭の子孫を残しました。現在「レッサーパンダ舎」で飼育している「桃桃(たおたお)」と「梨梨(りーりー)」もチャーミンの子どもで、「チャーミン」のいわゆる「まるまゆ」(目の上の白いしずく型の毛)を受け継いでいる子どもです。「チャーミン」は2014年7月17日に鯖江市(福井県)西山動物園生まれで、2014年に旭山動物園に来園しました。

